

2026 年度 秋入試

杏林大学大学院 医学研究科（博士課程）

学 生 募 集 要 項



建学の精神

杏林大学の建学の精神は「**真善美の探究**」です。

「真善美の探究」を通じて、優れた人格を持ち、人のために尽くすことの出来る国際的な人材を育成することが、本学の教育理念です。

真実・真理を究めるための学問をすることです。

「真」 真実・真理に対して謙虚であるとともに、自ら進んで学び、研究することを意味します。

倫理観を持ったよき人間性・人格を形成することです。

「善」 他人に対してやさしく、思いやる心を持った人格を自ら築き上げて、人のために尽くすことです。

真理に対し謙虚に学ぶ姿勢を持ち、他人を尊重し、自らの身を持するのに厳しく、

「美」 美しいものを美しいと感じる感性を磨くよう努めれば、自然に美しい立派な風格のある人間に成長していくことを意味しています。

個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続きにあたってお知らせいただいた個人情報（氏名・住所等）は、①入学試験の実施（出願処理・試験実施）、②審査結果・合格発表、③入学手続きと、これらに付随する事項を行うことを目的に利用します。

受験または就学上の配慮に関する事前相談について

基本的人権を尊重し、障がいの有無や程度によって分け隔てることなく、能力と就学意志を持つ学生を受け入れることを基本方針とします。

障がいや疾病等により、入学試験を受ける際、または入学後の学生生活において特別の配慮を必要とする方は、本学の教育方法や支援体制および施設設備などで対応することが可能な事前に協議するため、原則出願前（2026年5月29日（金）まで）に[12ページ「10. 問い合わせ先」](#)記載の担当者宛にご相談ください（入学試験の可否に影響を及ぼすことはありません）。

なお、出願後に大きな病気や怪我をし、受験上の配慮が必要となった場合も、速やかにご連絡ください。

目 次

| | |
|---|-----------|
| <u>1. アドミッション・ポリシー</u> | <u>3</u> |
| <u>2. 入学時期・募集人員・入学試験区分・長期履修制度</u> | <u>4</u> |
| <u>3. 出願資格</u> | <u>5</u> |
| <u>4. 出願資格審査</u> | <u>6</u> |
| <u>5. 出願書類</u> | <u>7</u> |
| <u>6. 入学試験</u> | <u>9</u> |
| <u>7. 合格発表</u> | <u>10</u> |
| <u>8. 入学手続き</u> | <u>11</u> |
| <u>9. 試験会場</u> | <u>12</u> |
| <u>10. 問い合わせ先</u> | <u>12</u> |
| <u>11. コースおよび主たる指導教員</u> | <u>13</u> |

1, アドミッション・ポリシー

医学研究科のアドミッション・ポリシー

医学研究科は、本研究科の理念・目的を理解し、その達成に真摯に取り組む意欲のある人材を求めている。具体的には、次のような資質をもつ学生を求めている。

(1) 求める学生像、資質

- (1-1) 医学・生命科学の研究者として独創的な研究に取り組む意思を持っている人
- (1-2) 高度な医学的知識と技能を持ち、かつ科学的な見地に立って臨床医学を極める意思を持っている人
- (1-3) 高度な医学的、科学的基盤に立って社会医学に貢献する意思を持っている人
- (1-4) 将来的に指導的立場に立ち、後進の育成に貢献する意思を持っている人

(2) 求める学習成果

「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）及び「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力を備えた人を求める。

- (2-1) 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。
(知識・理解・実技能力)
 - ・専門分野の論文を理解できる英語力と、その内容をまとめる力を持っている。
 - ・専門分野の基礎知識と、それを説明できる力を持っている。
- (2-2) 知識・技能を活用して、自らの課題を発見し、その解決に向けて物事を多面的かつ論理的に考察することができる。(思考力・判断力)
- (2-3) 自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。(表現力)
- (2-4) 医学、医療、人間、自然、文化などに関わる諸問題に深い関心を持ち、社会に積極的に貢献する意欲がある。(関心・意欲)
- (2-5) 積極的に他者とかかわり、多様な人々との対話を通して相互理解に努めようとする態度を有している。(態度・主体性・多様性・協調性)

2, 入学時期・募集人員・入学試験区分・長期履修制度

医学研究科 [博士課程] (標準修業年限 4 年)

入学時期

2026 年 9 月

募集人員

| 研 究 科 | 専 攻 名 | 入 学 定 員 |
|-------|-------|-------------------|
| 医学研究科 | 医学専攻 | 25 名 (春・秋入学合計) |

(注) 出願者は、[13 ページ「11. コースおよび主たる指導教員」](#)を参照の上、出願前に志願するコースの研究指導教授へ研究テーマ等を説明し、了解を得たうえで入学願書の所定欄にコース名を記入してください。

入学試験区分

入学試験区分には「一般選抜」、「社会人特別選抜」、「外国人留学生特別選抜」の 3 種類があります。

該当する区分を確認のうえ、出願書類の所定欄に記載してください。

(1) 一般選抜 (入学後「一般学生」)

本学医学部及び本学医学部附属病院並びに他施設の常勤職員として身分を有さない者

(2) 社会人特別選抜 (入学後「社会人学生」)

本学医学部及び本学医学部附属病院並びに他施設の常勤職員として勤務しており、入学後もその身分を有する者

※社会人特別選抜の出願者は「受験許可・就学承諾書」を提出してください。

※夜間、その他特定の時間又は時期において、授業又は研究指導を行う等の方法により教育を行う「特別措置 (教育方法の特例)」を受ける者は、志願するコースの研究指導教授と事前に相談してください。

(3) 外国人留学生特別選抜

外国籍を有し、[5 ページ「3. 出願資格」](#)のいずれかに該当する者 (日本国の永住権を有する者を除く)

長期履修制度 (長期履修制度に関する詳細は[こちら](#)から確認してください)

長期履修制度とは、職業を有している、育児・介護等を行う必要がある等の事情により、標準的な修業年限 (4 年間) では履修が困難と認められる学生について、標準修業年限を超えた一定の期間に、計画的な履修を認めるものです。

申請を希望する場合は出願時に申請書等の提出が必要です (申請は出願時のみ可能です)。

3, 出願資格

出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 大学における医学、歯学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者及び 2026 年 9 月卒業見込みの者
- (2) 大学における修業年限 6 年の薬学を履修する課程を卒業した者及び 2026 年 9 月卒業見込みの者
- (3) 外国において学校教育における 18 年の課程を修了した者及び 2026 年 9 月修了見込みの者で、その最終の課程が医学、歯学、獣医学又は薬学の課程であった者^{※1}
- (4) 2026 年 9 月末日で大学の医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する課程に 4 年以上在学し、又は外国において学校教育における 16 年の課程（最終の課程は医学、歯学、獣医学又は薬学）を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者^{※2}
- (5) 文部科学大臣の指定した者（注を参照）

(注) 文部科学大臣の指定した者とは、次の各号の一に該当するものである。

- ① 旧大学令（大正 7 年勅令第 388 号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
- ② 防衛庁設置法（昭和 29 年法律第 164 号）による防衛医科大学校を卒業した者
- ③ 修士課程を修了した者及び 2026 年 9 月修了見込の者または前期 2 年及び後期 3 年の課程の区分を設けない博士課程に 2 年以上在学し、30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和 49 年文部省令第 29 号）による改正前の学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 6 条第 1 号に該当する者を含む。）で大学院又は専攻科において、大学の医学、歯学又は修業年限 6 年の獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者^{※2}
- ④ 大学（医学、歯学又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、大学院又は専攻科において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると大学院が認められた者^{※2}

※1 出願資格(3)に該当する者は、事前確認を要するため、出願前に医学部事務課 大学院係へ相談すること。

※2 出願資格 (4) と(5)の③及び④に該当する者は、出願資格の認定が必要となる。
[6 ページ「4, 出願資格審査」](#)を参照すること。

4, 出願資格審査

出願資格(4)と(5)の注③及び④の該当者は、下記受付期間に必要な書類を提出し、事前に入学資格審査を受けてください。

審査結果は出願期間の1週間前までに郵送にて通知します。

学内の書類審査にて出願資格が認定されたのち、出願手続きをしてください。

1. 入学資格の個別審査書類受付期間(締切日必着)

| | |
|----------------|-----------------------|
| | 入学資格審査受付期間 |
| 2026年度秋入試出願予定者 | 2026年5月1日(金)～5月18日(月) |

2. 提出書類

| | |
|------------------|-------------------|
| 1. 入学試験出題資格認定申請書 | 本学所定用紙 |
| 2. 研究業績調書 | 本学所定用紙 |
| 3. 研究業績目録 | 本学所定用紙 |
| 4. 成績証明書 | 出身大学・大学院より交付されたもの |
| 5. 卒業証明書 | 出身大学・大学院より交付されたもの |

| | |
|--|--|
| Application Forms (For Foreign Students) | |
| 1. Admission Application for Graduate Study | |
| 2. Research Activities 1 | |
| 3. Research Activities 2 | |
| 4. Proof of graduation and transcripts from the applicant's highest level of schooling | |

3. 提出先

提出の際は必ず、事前にご連絡のうえ郵送願います。

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

杏林大学医学部事務課 大学院係宛

電話 0422-47-5511 (代表) 内線 23211

メール g-medicine@ks.kyorin-u.ac.jp

出願書類一式を「大学院医学研究科博士課程出願書類 在中」と朱書きした封筒に入れ、必ず郵便局から「書留」で郵送してください。

締切日必着です。締切日の消印有効ではありません。

※郵便局が発行する「書留郵便物受領証」は出願資格の審査結果が届くまで大切に保管してください。

5, 出願書類

1. 出願書類

《出願者全員が提出》

| | |
|--------------------------|---|
| 入学願書/履歴書 (外国人出願者用履歴書) | 本学所定用紙 (外国人留学生特別選抜に出願する者は「外国人出願者用履歴書」を提出) 志望するコースの研究指導教授の了承を得ること。 外国語の希望受験科目を明示すること。 |
| 受験票・検定料納付確認票 | 本学所定用紙 検定料を振込みのうえ振込証明書等の写しを貼付すること。 |
| 写真 | 2枚(縦4cm×横3cm) ※1枚は入学願書に貼付すること。 |

《該当者のみ提出》

| | |
|--------------|--|
| 卒業・修了(見込)証明書 | 該当者: 本学医学部以外の大学等を卒業した者 ※出身大学・大学院より交付されたもの |
| 成績証明書 | 該当者: 本学医学部以外の大学等を卒業した者 ※出身大学・大学院より交付されたもの |
| 受験許可・就学承諾書 | 該当者: 社会人特別選抜に出願する者 ※本学所定用紙 ※杏林大学医学部付属病院勤務者は病院長印の押印不要 |
| 学位取得証明書 | 該当者: 修士課程を修了した者、大学評価・学位授与機構で出願資格を得る者 ※出身大学・大学院より交付されたもの |
| 住民票 | 該当者: 外国籍を有する出願者全員 ※各市区町村長が発行する住民票(国籍・在留資格が記載されたもの) |
| 長期履修制度申請書 | 該当者: 長期履修制度の申請を希望する者 ※申請は出願時のみ可能 |

- 〈注〉
1. 出願書類に不備がある場合は、受け付けません。
 2. 提出された出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。
 3. 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学を取り消すことがあります。

2. 入学検定料

| 入試区分 | 入学検定料 |
|------------|----------|
| 一般選抜 | 35,000 円 |
| 社会人選抜 | |
| 外国人留学生特別選抜 | |

※いったん納入した入学検定料は理由のいかんに関わらず返還しません。

3. 入学検定料の納入方法

(1) 出願期間中に、金融機関窓口および ATM ならびにネットバンキング等で下記の口座に電信扱いで振込みのうえ、振込金受領書の写し、または ATM のレシートコピー、あるいはネットバンキングでの振込済確認をプリントアウトしたものを検定料納付確認票に貼付して出願書類と併せて提出してください。

(2) 振込先銀行

三菱 UFJ 銀行 西荻窪支店 普通 0392206

口座名 キョウリンダイガクイガクブ
杏林大学医学部

4. 出願方法

郵送する場合 締切日必着

出願書類一式を「大学院医学研究科博士課程出願書類 在中」と朱書きした封筒に入れ、必ず郵便局から「書留」で郵送してください。

締切日必着です。締切日の消印有効ではありません。

※郵便局が発行する「書留郵便物受領証」は大切に保管してください。

持参する場合

出願書類一式を「大学院医学研究科博士課程出願書類 在中」と朱書きした封筒に入れて提出してください。

受験票等は後日郵送します。

提出先 〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2
杏林大学医学部事務課 大学院係宛
電 話 0422-47-5511 (代表) 内線 23211

受付時間 平 日 9 : 00 ~ 17 : 00

※土曜日・日曜日・祝祭日の事務取扱はいたしません。

5. 受験票

受験票は、出願時に確認した宛先に送付します。

試験日の 2 日前までに受験票が届かない場合は、大学院係まで申し出てください。

6, 入学試験

1. 試験日程（一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜）

| | | |
|---------|--|-------------|
| 出願期間 | 2026年6月1日（月）～6月11日（木）17:00まで （入学検定料振込、出願書類郵送 締切日必着） | |
| 試験日 | 2026年7月1日（水） | |
| 合格発表日 | 2026年7月15日（水）17:00～ | |
| 入学手続締切日 | 2026年7月31日（金）17:00まで 締切日必着 | |
| 試験会場 | 三鷹キャンパス | |
| 選考方法 | 筆記試験、面接試験の総合判定とする。 | |
| | | 時間 |
| | 入室時間 | 9:20～9:30 |
| | 受験上の諸注意 | 9:35～9:45 |
| | 外国語 ^{注1} | 9:45～10:45 |
| | 専門科目 | 11:00～12:00 |
| | 面接 ^{注2} | 13:00～ |
| | 注1 既に本学外国語試問に合格している者は免除とします。 | |
| | 注2 面接開始時間は試験当日個別に通知します。 | |

※試験当日、天候不良等により公共交通機関に乱れが生じている場合でも試験を実施します。なお、大幅な遅延が予測される場合（試験開始時刻より30分以上遅れそうな場合）は杏林大学医学部事務課 大学院係に連絡し、指示を受けてください。主要交通機関の乱れにより、多数の受験生が試験開始時刻に間に合わないとは本学が判断した場合のみ、試験開始時刻を遅らせることがあります。

2. 受験心得

- (1) 各科目とも筆答とします（外国語辞典持参可。スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書及び外国語翻訳機等電子機器類は使用できません）。
- (2) 試験当日は9時30分までに入室し、指定された席に着席のうえ受験票を机上に提示してください。
- (3) 試験開始から30分を超えて遅刻した者は、受験することができません。
- (4) 試験場内においては、係員の指示に従ってください。
- (5) 解答用紙にはHB程度の黒鉛筆（シャープペンシル可）だけを用い、鉛筆・消しゴム以外の使用は禁止します。
- (6) 解答用紙には受験番号・氏名を確実に記入してください。無記入、誤記入の場合は無効とします。

7, 合格発表

学内掲示で合否結果を確認することができます。

○掲示期間（発表時間）

発表日を含めて3日間です（土曜日・日曜日・祝日は含みません）。

○掲示場所

本学医学資料情報センター棟前 掲示板

合格者には合格発表日に、出願時に確認した宛先に志願者本人宛で、入学許可書および入学手続きに必要な書類をお送りします。

不合格通知は行いません。

合否結果について電話等による問い合わせには一切応じられません。

8, 入学手続き

1. 入学手続き

合格発表時に送付される入学手続書類によって手続きを行ってください。[9 ページ「6. 入学試験」](#)にて入学手続締切日を確認し、定められた入学手続締切日までに手続きを完了してください。

指定締切日までに入学手続きを完了しない場合は入学を許可しません。

本学窓口に入学手続書類を持参する場合は、平日 9:00 から 17:00 までの間に来校してください（土曜日・日曜日・祝祭日の事務取扱はいたしません）。

ただし、本学窓口では現金の取り扱いができませんので、学納金は事前に金融機関で振込みを済ませておいてください。

入学手続き窓口 本学医学資料情報センター棟 2 階 医学部事務課

2. 学納金

| | 初年度 | | | 2 年次以降 | | |
|---------------------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|
| | 入学手続時 | 後期 | 年額 | 前期 | 後期 | 年額 |
| 入学料 ^{※1} | 250,000 円 | — | 250,000 円 | — | — | — |
| 授業料 | 100,000 円 | 100,000 円 | 200,000 円 | 100,000 円 | 100,000 円 | 200,000 円 |
| 施設設備費 ^{※2} | 100,000 円 | 100,000 円 | 200,000 円 | — | — | — |
| 保険料 ^{※3} | 3,370 円 | — | 3,370 円 | — | — | — |
| 計 | 453,370 円 | 200,000 円 | 6,53,370 円 | 100,000 円 | 100,000 円 | 200,000 円 |

※1 入学時のみ納入。本学の学部卒業生及び大学院修了者が入学する場合には免除。

※2 初年度のみ納入

※3 学生教育研究災害障害保険料 3,370 円（4 年分）

通学中等傷害危険担保特約 1,000 円、接触感染予防保険金支払特約 70 円を含む。

※4 長期履修制度利用者の納入金額は別途定める。

3. 入学辞退手続き

学納金納入後に入学を辞退する場合は、2026 年 9 月 14 日（月）12 時までに電話で辞退の連絡をしてください。期限内に辞退手続きが完了しない場合、辞退は認められず、既納付金の返還はできません。

期限内に辞退手続きが完了した方には、入学金を除く既納付金が返還されます。詳細については、入学手続書類でご案内します。

9, 試験会場

三鷹キャンパス

〒181-8611 東京都三鷹市 6-20-2

三鷹駅 南口よりバス約 20分

吉祥寺駅 南口よりバス約 20分

仙川駅 北口よりバス約 15分

調布駅 北口よりバス約 25分



10, 問い合わせ先

杏林大学 三鷹キャンパス 医学部事務課 大学院係

住所 〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

電話 0422-47-5511 (代表) 内線 23211

メール g-medicine@ks.kyorin-u.ac.jp

受付時間 平日 9:00 ~ 17:00

※土曜日・日曜日・祝祭日の事務取扱はいたしません。

11, コースおよび主たる指導教員

2026年4月1日現在

| 臨床系コース | | |
|---------------|----------------------------------|---|
| コース名 (専門分野) | 指導教員 | 研究分野 |
| 脳神経内科学 | 市川 弥生子 | 脳神経内科学, 遺伝医学 |
| 呼吸器内科学 | 石井 晴之 血谷 健 | 呼吸器病学、稀少肺疾患、胸部画像診断学 診断学、感染症学、びまん性肺疾患 (膠原病など) |
| 腎臓・リウマチ膠原病内科学 | 駒形 嘉紀 岸本 暢将 | リウマチ・膠原病学、基礎・臨床免疫学 リウマチ・膠原病学、脊椎関節炎および乾癬性関節炎 |
| 循環器内科学 | 副島 京子 村田 光繁 河野 隆志 矢田 浩崇 | 不整脈治療 心臓超音波、弁膜症 心不全 心筋症 睡眠時無呼吸 不整脈、虚血性心疾患、心臓超音波 |
| 血液内科学 | 荒井 俊也 | 血液内科学 |
| 糖尿病・内分泌・代謝内科学 | 安田 和基 | 糖尿病学、内分泌・代謝学、分子遺伝学 |
| 消化器内科学 | 久松 理一 松浦 稔 大森 鉄平 | 消化器病学、炎症性腸疾患、粘膜免疫学 消化器病学、炎症性腸疾患、消化器内視鏡学 消化器内科学、炎症性腸疾患、小腸疾患、消化器内視鏡学 |
| 腫瘍内科学 | 廣中 秀一 長島 文夫 | 腫瘍内科学、消化器病学、臨床試験 腫瘍内科学、消化器内科学、臨床薬理学 |
| 高齢医学 | 長谷川 浩 亀山 祐美 | 高齢者救急、老年医学、認知症、老年循環器学 老年医学、認知症、性差医学 |
| 精神神経科学 | 渡邊 衡一郎 中野 正寛 | 臨床精神医学、臨床精神薬理学、意思決定 臨床精神医学 |
| 小児科学 | 成田 雅美 吉野 浩 | 小児科学、アレルギー学、免疫学 小児の血液腫瘍疾患 |
| 消化器・一般外科学 | 阪本 良弘 阿部 展次 須並 英二 鈴木 裕 | 肝胆膵外科、特に悪性腫瘍の外科治療 消化器疾患に対する低侵襲治療、内視鏡外科 消化器外科学、下部消化管疾患、内視鏡外科 消化器・一般外科、肝胆膵外科 |
| 呼吸器・甲状腺外科学 | 橋本 浩平 近藤 晴彦 | 胸部腫瘍外科、低侵襲手術、肺移植 外科腫瘍学、呼吸器外科学、胸部画像診断学 |
| 乳腺外科学 | 松本 暁子 | 乳腺外科学、外科腫瘍学 |
| 救急医学 | 松田 剛明 | 重症感染症、敗血症性ショックの病態生理・免疫反応 |
| 脳神経外科学 | 田中 洋次 | 脳血管障害、良性脳腫瘍 |
| 心臓血管外科学 | 窪田 博 細井 温 遠藤 英仁 | 成人心臓・大血管外科学 末梢血管外科学 成人心臓・大血管外科学 |
| 整形外科 | 細金 直文 森井 健司 佐々木 茂 | 脊椎・脊髄、脊柱変形 骨・軟部腫瘍 肩・膝関節 |

| 臨床系コース | | |
|-------------|--|---|
| コース名 (専門分野) | 指導教員 | 研究分野 |
| 皮膚科学 | 大山 学 | 毛髪疾患、自己免疫性疾患、再生医学、幹細胞生物学 |
| 形成外科学 | 尾崎 峰 大浦 紀彦 | 頭蓋顎顔面外科、血管腫・血管奇形 難治性潰瘍、褥瘡、熱傷、創傷治癒、微小循環 |
| 泌尿器科学 | 福原 浩 多武保 光宏 | 泌尿器腫瘍学、腹腔鏡・ロボット手術、ウイルス療法 泌尿器腫瘍学、尿路結石症、男性更年期障害 |
| 眼科学 | 井上 真 岡田 アナベル あやめ 山田 昌和 慶野 博 北 善幸 | 網膜硝子体、小切開硝子体手術 眼炎症(ぶどう膜炎)、黄斑疾患(加齢黄斑変性など) 角膜疾患、臨床疫学 眼炎症性疾患 眼科学 |
| 耳鼻咽喉科学 | 齋藤 康一郎 増田 正次 横井 秀格 | 喉頭科学、音声言語医学 神経耳科学 耳鼻咽喉科学、鼻科学、免疫アレルギー |
| 産科婦人科学 | 谷垣 伸治 森定 徹 鈴木 淳 | 合併症妊娠、産科救急、シミュレーション教育 婦人科腫瘍学、がん検診 婦人科腫瘍学 |
| 放射線医学 | 横山 健一 須山 淳平 | 画像診断学 核医学 |
| 放射線腫瘍学 | 江原 威 | 肺癌の放射線治療、放射線全般 |
| 麻酔科学 | 森山 潔 徳嶺 譲芳 関 博志 | 麻酔科学、集中治療医学 麻酔科学、シミュレーション、CVC 安全管理 麻酔科学、周術期医学 |
| 臨床検査医学 | 大西 宏明 | 臨床検査医学、小児科学、血液腫瘍学、造血細胞治療学 |
| 総合医療学 | 長谷川 浩 花輪 智子 倉井 大輔 徳永 健吾 | 高齢者救急、老年医学、認知症、老年循環器学 感染症学、感染免疫 呼吸器感染症 上部消化管、生活習慣病、消化器内視鏡 |
| リハビリテーション医学 | 山田 深 辻川 将弘 | 障害評価、脳卒中リハビリ、宇宙医学生物学、ICF 脳卒中リハ、内部障害リハ、住宅改造 |
| 脳卒中医学 | 平野 照之 | 脳卒中医学 |

| 基礎系コース | | |
|-------------|--------|--------------------------|
| コース名 (専門分野) | 指導教員 | 研究分野 |
| 肉眼解剖学 | 長瀬 美樹 | 解剖学、細胞生物学、分子生物学、腎・高血圧学 |
| 顕微解剖学 | 宮東 昭彦 | 組織細胞化学、生殖内分泌系 |
| 統合生理学 | 林 玲匡 | 病態生理学、分子病理学、病理診断学 |
| 病態生理学 | 寺尾 安生 | 神経生理学、神経内科学 |
| 代謝生化学 | 苜田 慎一 | 生化学、生理学、分子細胞生物学、環境衛生学 |
| 細胞生化学 | 鈴木 絢子 | ゲノム科学、腫瘍生物学 |
| 薬理学 | 櫻井 裕之 | 腎臓発生、上皮輸送、上皮の細胞生物学、癌 |
| 病理学 | 柴原 純二 | 人体病理学 |
| | 藤原 正親 | 肺癌の病理 |
| 感染症学 | 三戸部 治郎 | 細菌学、分子生物学 |
| 衛生学・公衆衛生学 | 苅田 香苗 | 健康科学、環境衛生学、疫学、産業保健学 |
| 法医学 | 北村 修 | 法医病理学、精神神経薬理学、薬物依存 |
| 発生・遺伝学 | 栗崎 健 | 神経生物学、発生遺伝学 |
| 生体物理工学 | 高原 哲士 | 原子核構造、生物物理学 |
| | 大谷 宗久 | ハドロン物理理論：核子・中間子の性質や構造の解析 |
| 分子機能生化学 | 丑丸 真 | 物質輸送のエネルギー論、イオン輸送機構 |

詳細は医学研究科 HP (<http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/>) を確認してください